

アルブミンとお薬の話

アルブミンは肝臓で主にタンパク質から作られます。
血液検査で血清アルブミンを調べるのは栄養状
や肝臓、腎臓の病気を調べるため
基準値は4.0から5.0g/dLです。



基準値より低い

低栄養状態、肝臓 腎臓の働きが
悪くなっている疑い

基準値より高い

脱水状態の疑い

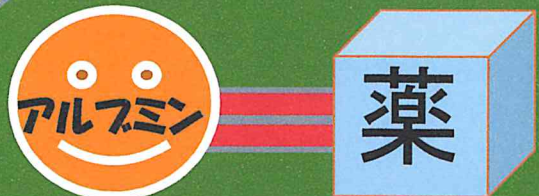
アルブミンが血液中で血液サラサラの薬や血圧の薬
などと結合して効果に影響することがあります。

結合していない薬



効果がある

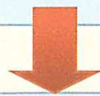
結合している薬



効果がない

血液中のアルブミンの量が急激に少なくなるとアルブミンと結合
できない薬が増えて、普段より作用が強くなることがあるので
注意が必要です。

食事でタンパク質を多く含む肉、卵、魚、大豆などが十分に摂れていない人



血清アルブミン値が低くなる可能性があります。

(ただし、肝臓 腎臓の悪い方、糖尿病の方など食事制限をされている方は
医師の指示に従ってください)

アルブミン値が気になる方は、薬剤師に相談してください